第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 14010010

政策目標	2	【安心感の持てる福祉のまち・雄武】 ～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度		A
単位施策	5	地域医療の確立			
事業名	医師確保対策事業		政策事務分類	3	単独自治事務(その他)
			見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度		担当課	14	国保病院
事業主体	雄武町		関係課		#N/A
事業指標	地域医療体制の維持				#N/A
事業目標	常勤医師3名		ハード／ソフト事業区分	2	ソフト事業
町民参加	有	雄武町国民健康保険病院運営委員会	関係例規・法令名	無	
町民協働			関係個別計画名	無	

【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載

	全体計画 事業内容	平成 30 年度 事業内容	令和 元 年度 事業内容	令和 2 年度 事業内容	令和 3 年度 事業内容	令和 4 年度 事業内容
計画内容	◆医師確保対策 ・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣

		全体計画	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
計画事業費	事業費（千円）	30,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
財源内訳	国庫支出金	20,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	10,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
実績事業費	事業費（千円）	16,470	7,624	8,846	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	11,655	5,758	5,897			
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	4,815	1,866	2,949			

関連事項							
特定財源の名称	国保調整交付金	【評価・実績】	(実施内容等) ●民間医師紹介業者への求人 ●非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	(実施内容等) ●医師確保に係る関係機関等への面談(道外) ●民間医師紹介業者への求人 ●非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A－継続／現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
第5期計画からの継続		年度目標値	常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名
(継続有り)		年度達成率	127%	147%	0%	0%	0%
後期計画への継続		全体達成率	25%	55%	55%	55%	55%
(継続有り)		備考欄					

様式1
令和元年度実施
令和2年度評価

事業名	医師確保対策事業	評価者　管理職　職氏名	国保病院事務長	新谷　朋人
		評価者　作成者　職氏名	国保病院事務次長	河原　学

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	雄武町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	常勤医師数	
抱える課題やニーズ	常勤（換算）医師の確保による安定した医療体制の確立	指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
		① 常勤（換算）医師の確保	目標年度	令和元 年度
			目標値	3 名
			実績値	3 名
どのような状態になることを目指したのか（意図）	常勤（換算）医師を確保し、安定した診療体制を維持するとともに、安心感のある医療の支援を目指す		達成度	100.0 %
		②	目標年度	令和元 年度
			目標値	
			実績値	
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	町民への安定的な医療支援が可能となり、町民の健康・安全及び効率的な病院運営が図られる		達成度	

内容（どのような手段で何を行ったか）	常勤（換算）医師の確保	医師求人情報掲載（有料ホームページ等）、医師紹介業者及び関係協力機関からの仲介派遣、道外関係者等への協力依頼

■事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要	☐	義務的なもの	安定した医療体制の構築のためには必要な事業であり、安全かつ効率的な地域医療体制の確保は、公立病院開設者である町としての責務である
必要／概ね必要／課題あり	☐	全部	
	☐	一部	

（2）事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

概ね有効	設定した目標値の達成状況		常勤医師の増員（確保）は達成できなかったが、非常勤内科医師の平日診療のほか、旭川医大からの小児科及び耳鼻咽喉科医師の定期派遣をうけ、常勤換算では目標値を達成できたことから、町民の受診機会の確保が図られたため、概ね有効であった
	☐	達成	
有効／概ね有効／課題あり	☑	ほぼ達成	
	☐	下回る	

（3）事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

概ね効率的	判断の理由		効果的な方法を常に検討しながら対応しているが、全国的な医師不足及び地域性の課題から、直ちに確保が図られるという状況にはないが、民間医療機関との連携により、安定的な医師派遣及び新たな診療体制等の検討を行うことができ、また道外関係者への協力要請等も実施することができた。
	☐	事業費抑制	
	☐	人員削減	
効率的／概ね効率的／課題あり	☐	時間短縮・作業軽減	
	☑	その他	

（4）事務事業の公平性

公平	判断の理由		町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
	☐	受益者負担がある	
	☐	受益者負担がない	
公平／概ね公平／公平でない	☐	受益が一部に偏る	
	☑	その他	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
常勤医師の増員には至らなかったが、非常勤医師及び派遣医師により常勤換算では計画的な診療体制の確保が図られた	同左	

今後の展開方向（Action）

継続／現状維持	継続／現状維持	
社会情勢や地域課題もあり、常勤医師の増員は困難な状況にあるが、引き続き関係機関との積極的な連携強化を図り、医師確保に取り組むとともに、病院機能として安定した診療体制を確立するため、常勤換算3名以上を維持していく。	同左	

※展開方向の区分
〇継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
〇終了　〇休止　〇廃止

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 14010020

政策目標	2	【安心感の持てる福祉のまち・雄武】 ～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度		A
単位施策	5	地域医療の確立			
事業名	病院情報ネットワーク整備事業		政策事務分類	3	単独自治事務(その他)
			見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度		担当課	14	国保病院
事業主体	雄武町		関係課		#N/A
事業指標	電算システム運用数				#N/A
事業目標	5件(リース含む)		ハード／ソフト事業区分	1	ハード事業
町民参加	無		関係例規・法令名	有	医療法・薬事法
町民協働			関係個別計画名	無	

【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載

	全体計画 事業内容	平成 30 年度 事業内容	令和 元 年度 事業内容	令和 2 年度 事業内容	令和 3 年度 事業内容	令和 4 年度 事業内容
計画内容	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム更新(リース) ◆オーダリングシステム更新 ◆レセプト電算システム保守 ◆オーダリングシステム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ◆レセプト電算システム保守 ◆オーダリングシステム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ◆レセプト電算システム保守 ◆オーダリングシステム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ◆レセプト電算システム保守 ◆オーダリングシステム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ◆レセプト電算システム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守 ◆オーダリングシステム更新	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ◆レセプト電算システム保守 ◆オーダリングシステム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守

		全体計画	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
計画事業費	事業費(千円)	65,000	5,000	5,000	5,000	45,000	5,000
財源内訳	国庫支出金	40,000				40,000	
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	25,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
実績事業費	事業費(千円)	9,473	4,796	4,677	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	9,473	4,796	4,677			

関連事項							
特定財源の名称	国保調整交付金	【評価・実績】	(実施内容等) ●医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ●レセプト電算システム保守 ●オーダリングシステム保守 ●看護記録システム保守 ●医薬品情報管理システム保守 ※事務事業評価結果 A－継続／現状維持	(実施内容等) ●医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ●レセプト電算システム保守 ●オーダリングシステム保守 ●看護記録システム保守 ●医薬品情報管理システム保守 ※事務事業評価結果 A－継続／現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果
第5期計画からの継続		年度目標値	5件(リース含む)	5件(リース含む)	5件(リース含む)	5件(リース含む)	5件(リース含む)
(継続有り)		年度達成率	96%	94%	0%	0%	0%
後期計画への継続		全体達成率	7%	15%	15%	15%	15%
(継続有り)		備考欄					

様式1
令和元年度実施
令和2年度評価

事業名	病院情報ネットワーク整備事業	評価者　管理職　職氏名	国保病院事務長	新谷　朋人
		評価者　作成者　職氏名	国保病院事務次長	河原　学

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	雄武町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	電算システム運用数
抱える課題やニーズ	迅速かつ正確な医療サービス支援体制の構築		
どのような状態になることを目指したのか（意図）	医療関係システム整備による医療支援とサービスの向上をめざす		
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	正確な医療情報の処理と円滑かつ迅速な会計処理及び多様化する健診業務の対応が可能となる		

指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
① 医療関係システムの保守	目標年度	令和元 年度
	目標値	5 件
	実績値	5 件
	達成度	100.0 %
②	目標年度	令和元 年度
	目標値	
	実績値	
	達成度	

内容（どのような手段で何を行ったか）		
	医事・会計・健診・薬品在庫システムの保守	医療基幹システムによる情報管理

■事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要	☐	義務的なもの	医療にかかるネットワークシステムの構築は、正確かつ迅速な医療体制維持のために必要である
必要／概ね必要／課題あり	☐	全部	
	☐	一部	

（2）事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効	設定した目標値の達成状況		医療基幹システムの活用により、安定した医療体制が図られた
	☑	達成	
有効／概ね有効／課題あり	☐	ほぼ達成	
	☐	下回る	

（3）事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的	判断の理由		システムの再リースにより全体経費の圧縮が図られ、かつ医師・コメディカル・事務等医療スタッフ間の情報共有においても、一元的な管理が行われた
	☐	事業費抑制	
	☐	人員削減	
効率的／概ね効率的／課題あり	☑	時間短縮・作業軽減	
	☐	その他	

（4）事務事業の公平性

公平	判断の理由		町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
	☐	受益者負担がある	
	☐	受益者負担がない	
公平／概ね公平／公平でない	☐	受益が一部に偏る	
	☑	その他	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
医療関係システムは、正確かつ迅速な医療の提供には不可欠であり、サービス向上が図られている		

今後の展開方向（Action）

継続／現状維持		
町民が安心する医療サービス支援には、適切なシステム構築を図ることが必要であることから、今後計画されるシステム更新に際しては、規模や運用体制を含め院内全体での協議を深める		

※展開方向の区分
○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了　○休止　○廃止

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 14010030

政策目標	2	【安心感の持てる福祉のまち・雄武】 ～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度		B
単位施策	5	地域医療の確立			
事業名		医療機器整備事業	政策事務分類	3	単独自治事務（その他）
			見直し年度		
事業期間		平成30年度～令和4年度	担当課	14	国保病院
事業主体		雄武町	関係課		#N/A
事業指標		更新機器数			#N/A
事業目標		10機器以上	ハード／ソフト事業区分	1	ハード事業
町民参加	無		関係例規・法令名	無	
町民協働			関係個別計画名	無	

【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載

	全体計画 事業内容	平成 30 年度 事業内容	令和 元 年度 事業内容	令和 2 年度 事業内容	令和 3 年度 事業内容	令和 4 年度 事業内容
計画内容	◆医療機器の更新 ・透析部門機器 ・検査部門機器	◆医療機器の更新 ・輸液ポンプ ・血液凝固分析装置	◆医療機器の更新 ・ベッドサイドモニタ更新	◆医療機器の更新 ・生化学分析装置更新	◆医療機器の更新 ・グリコヘモグロビン分析装置	◆医療機器の更新 ・透析装置6台、水処理装置、除細動器 他

計画事業費	事業費（千円）	49,326	2,322	1,800	3,500	6,712	34,992
財源内訳	国庫支出金	2,000					2,000
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	47,326	2,322	1,800	3,500	6,712	32,992
実績事業費	事業費（千円）	2,106	864	1,242	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	2,106	864	1,242			

関連事項							
特定財源の名称	【評価・実績】	（実施内容等） ●輸液ポンプ更新	（実施内容等） ●ベッドサイドモニタ更新	（実施内容等）	（実施内容等）	（実施内容等）
国保調整交付金						
病院事業債						
過疎債						
		※事務事業評価結果 A－継続／現状維持	※事務事業評価結果 A－継続／現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
第5期計画からの継続	年度目標値	2機器以上	1機器以上	1機器以上	1機器以上	6機器以上
（継続有り）	年度達成率	37%	69%	0%	0%	0%
後期計画への継続	全体達成率	2%	4%	4%	4%	4%
（継続有り）	備考欄					

様式1
令和元年度実施
令和2年度評価

事業名	医療機器整備事業	評価者　管理職　職氏名	国保病院事務長	新谷　朋人
		評価者　作成者　職氏名	国保病院事務次長	河原　学

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	雄武町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	安定した医療提供機器の整備
抱える課題やニーズ	医療機器の老朽化等に伴う更新及び最新医療機器の導入		
どのような状態になることを目指したのか（意図）	患者のニーズに即した医療機器の整備により、適切な医療の提供をめざす		
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	適切な医療の提供により、町民の健康増進が図られる		

指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
① 医療機器の整備	目標年度	令和元 年度
	目標値	1 機
	実績値	1 機
	達成度	100.0 %
②	目標年度	令和元 年度
	目標値	
	実績値	
	達成度	

内容（どのような手段で何を行ったか）		
	医療機器の更新	見積合わせによる購入

■事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要	☐	義務的なもの	安定かつ適切な診療体制を維持するため、患者のニーズに即した医療機器の計画的な更新（導入）は必要である
必要／概ね必要／課題あり	☐	全部	
	☐	一部	

（2）事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効	設定した目標値の達成状況		救急患者受け入れに必要不可欠なベッドサイドモニタの更新により、安定的な医療支援体制の確保が図られた
	☑	達成	
有効／概ね有効／課題あり	☐	ほぼ達成	
	☐	下回る	

（3）事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的	判断の理由		更新機器の選定にあたっては、医師及び看護士等の医療スタッフとの協議を行うとともに、購入費等の精査を行い事業費の抑制を図った
	☑	事業費抑制	
	☐	人員削減	
効率的／概ね効率的／課題あり	☐	時間短縮・作業軽減	
	☐	その他	

（4）事務事業の公平性

公平	判断の理由		町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
	☐	受益者負担がある	
	☐	受益者負担がない	
公平／概ね公平／公平でない	☐	受益が一部に偏る	
	☑	その他	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
医療機器の計画的な整備により、安定かつ適切な医療サービスの向上が図られている		

今後の展開方向（Action）

継続／現状維持		
町民が安心する医療サービスの提供及び医療機器の経年劣化等に対応するため、計画的に整備を行うとともに、更新時には改めて必要性等を再検証する		

※展開方向の区分
○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了　○休止　○廃止

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 14010040

政策目標	2	【安心感の持てる福祉のまち・雄武】 ～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度		B
単位施策	5	地域医療の確立			
事業名		医療従事者確保対策事業	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)
			見直し年度		
事業期間		平成30年度～令和4年度	担当課	14	国保病院
事業主体		雄武町	関係課		#N/A
事業指標		安定した医療を提供する病院施設			#N/A
事業目標		1施設	ハード／ソフト事業区分	2	ソフト事業
町民参加	有	雄武町国民健康保険病院運営委員会	関係例規・法令名	無	
町民協働			関係個別計画名	無	

【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載

	全体計画 事業内容	平成 30 年度 事業内容	令和 元 年度 事業内容	令和 2 年度 事業内容	令和 3 年度 事業内容	令和 4 年度 事業内容
計画内容	◆医療従事者確保対策 ・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載

計画事業費	事業費（千円）	2,500	500	500	500	500	500
財源内訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	2,500	500	500	500	500	500
実績事業費	事業費（千円）	1,787	1,000	787	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	1,787	1,000	787			

関連事項							
	特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等) ●求人依頼(紹介) ●広告掲載(無料)	(実施内容等) ●求人依頼(紹介2名) ●広告掲載(無料)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
			※事務事業評価結果 A－継続／現状維持	※事務事業評価結果 A－継続／現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続	年度目標値	1施設	1施設	1施設	1施設	1施設
	(継続有り)	年度達成率	200%	157%	0%	0%	0%
	後期計画への継続	全体達成率	40%	71%	71%	71%	71%
	(継続有り)	備考欄					

様式1
令和元年度実施
令和2年度評価

事業名	医療従事者確保対策事業	評価者　管理職　職氏名	国保病院事務長	新谷　朋人
		評価者　作成者　職氏名	国保病院事務次長	河原　学

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	雄武町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	新規医療従事者数		
抱える課題やニーズ	看護師等の医療技術職員の確保が極めて困難な状況となっており、適時適切な職員の雇用が求められる	指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値		
どのような状態になることを目指したのか（意図）	病院として求められる機能維持のために必要とされる医療技術職員の確保	① 医療技術職員新規確保	目標年度	令和元 年度	
			目標値	2 名	
			実績値	2 名	
			達成度	100.0 %	
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	町民に対して、安心感のある良質な医療サービスの提供	②	目標年度	令和元 年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度		
内容（どのような手段で何を行ったか）	関係機関等への要請及び民間紹介会社の活用	町HP及びハローワークのほか、民間事業者HP（成功報酬制）への掲載、民間事業者からの紹介			

■事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要	☐	義務的なもの	医師の確保と同様に、医療技術職員の必要数確保は病院機能の維持において重要であり、必要な事業である。
必要／概ね必要／課題あり	☐	全部	
	☐	一部	

（2）事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効	設定した目標値の達成状況		通年募集している看護師について、未だ充足されていない状況であるが、民間事業者からの紹介により新規に2名確保することができ、今後にあっても人材確保方法の一案となった
	☐	達成	
有効／概ね有効／課題あり	☑	ほぼ達成	
	☐	下回る	

（3）事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的	判断の理由		町HP及びハローワークへの募集掲載のみでは、効果が乏しかったが、民間事業者等からの情報収集や紹介により、即時性かつ継続性の高い人員確保が図られた
	☐	事業費抑制	
	☐	人員削減	
効率的／概ね効率的／課題あり	☑	時間短縮・作業軽減	
	☐	その他	

（4）事務事業の公平性

公平	判断の理由		町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
	☐	受益者負担がある	
	☐	受益者負担がない	
公平／概ね公平／公平でない	☐	受益が一部に偏る	
	☑	その他	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
公的機関及び民間事業者に対しても求人要請は継続しており、看護師の欠員補充を図ることができたが、未だ充足に至っていないことから、民間事業者からの紹介等を有効に利用する		

今後の展開方向（Action）

継続／現状維持		
医療技術職員の確保は、医師確保と同様に病院機能維持のためには不可欠であることから、引き続き適切な募集を行うことが必要である		

※展開方向の区分
○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了　○休止　○廃止

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 14010050

政策目標	2	【安心感の持てる福祉のまち・雄武】 ～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度		B
単位施策	5	地域医療の確立			
事業名	病院車両更新事業		政策事務分類	3	単独自治事務(その他)
			見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度		担当課	14	国保病院
事業主体	雄武町		関係課		#N/A
事業指標	病院車両の更新				#N/A
事業目標	2台		ハード／ソフト事業区分	1	ハード事業
町民参加	無		関係例規・法令名	無	
町民協働			関係個別計画名	無	

【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載

	全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	令和 元 年度 事業内容	令和 2 年度 事業内容	令和 3 年度 事業内容	令和 4 年度 事業内容
計画内容	◆在宅指導用車両更新 ◆医師送迎車両更新			◆在宅指導用車両更新			◆医師送迎車両更新
計画事業費	事業費(千円)	6,600	0	2,100	0	0	4,500
財源内訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	6,600		2,100			4,500
実績事業費	事業費(千円)	2,084	0	2,084	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	2,084		2,084			
関連事項	特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	過疎債			●在宅指導用車両更新			
	病院事業債						
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A－継続／現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続	年度目標値		1台			1台
	(継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	99%	#DIV/0!	#DIV/0!	0%
	後期計画への継続	全体達成率	0%	32%	32%	32%	32%
	(継続有り)	備考欄					

様式1
令和元年度実施
令和2年度評価

事業名	病院車両更新事業	評価者　管理職　職氏名	国保病院事務長	新谷　朋人
		評価者　作成者　職氏名	国保病院事務次長	河原　学

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	雄武町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	在宅指導用車両更新数
抱える課題やニーズ	医療体制維持のための在宅診療等にかかる移動手段の確保		
どのような状態になることを目指したのか（意図）	送迎及び移動手段の確保により、受診機会の向上をめざす		
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	受診環境の充実により、安心かつ迅速な医療サービスの提供が図れる		

指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
① 在宅指導用車両更新	目標年度	令和元 年度
	目標値	1 台
	実績値	1 台
	達成度	100.0 %
②	目標年度	令和元 年度
	目標値	
	実績値	
	達成度	

内容（どのような手段で何を行ったか）		
	在宅指導用車両の更新（1台）	入札による事業執行

■事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要	☐	義務的なもの	町民の受診機会の向上を目指し、経年劣化により故障等を含めた危険性が高まった車両の更新により、安定的な医療体制の継続が図られたことから、必要な事業である
必要／概ね必要／課題あり	☐	全部	
	☐	一部	

（2）事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効	設定した目標値の達成状況		医療体制の維持及び町民の受診機会等の向上が図られたことから有効である
	☑	達成	
有効／概ね有効／課題あり	☐	ほぼ達成	
	☐	下回る	

（3）事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的	判断の理由		購入費等の精査並びに入札執行により、事業費の抑制が図られた
	☑	事業費抑制	
	☐	人員削減	
効率的／概ね効率的／課題あり	☐	時間短縮・作業軽減	
	☐	その他	

（4）事務事業の公平性

公平	判断の理由		町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
	☐	受益者負担がある	
	☐	受益者負担がない	
公平／概ね公平／公平でない	☐	受益が一部に偏る	
	☑	その他	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
計画どおり在宅指導用車両を更新し、医師及び医療従事者等の移動手段が確保でき、かつ他業務でも有効的な活用ができている		

今後の展開方向（Action）

継続／現状維持		
病院管理車両には、経年劣化による故障等も頻繁に発生している車両もあり、安全面からも計画的な更新が必要である		

※展開方向の区分
○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了　○休止　○廃止

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 14010060

政策目標	2 【安心感の持てる福祉のまち・雄武】 ～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3 国保病院事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載	
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A		
単位施策	5 地域医療の確立				
事業名	病院環境整備事業	政策事務分類	3 単独自治事務（その他）		
		見直し年度			
事業期間	平成30年度～令和4年度	担当課	14 国保病院		
事業主体	雄武町	関係課	#N/A		
事業指標	環境を整備すべき病院施設数		#N/A		
事業目標	1施設	ハード／ソフト事業区分	1 ハード事業		
町民参加	無	関係例規・法令名	無		
町民協働		関係個別計画名	無		

	全体計画		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
	事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	◆病院設備環境の整備 ・呼出表示機更新（リース） ・空調設備改修 ・エレベータ設備改修 ・PBX装置更新 ・ナースコール装置更新 ・エアコン設備整備工事		・呼出表示機更新（リース） ・空調設備改修（熱源機器類） ・エレベータ設備改修	・空調設備改修（冷暖房機器類） ・エアコン設備整備工事	・空調設備改修（空調機器類）	・空調設備改修（空調機器類） ・PBX装置更新 ・ナースコール装置更新	・空調設備改修（熱源機器類）
計画事業費	事業費（千円）	65,260	2,850	29,390	2,920	27,600	2,500
財源内訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	65,260	2,850	29,390	2,920	27,600	2,500
実績事業費	事業費（千円）	31,013	2,393	28,620	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	31,013	2,393	28,620			
関連事項	特定財源の名称 病院事業債 過疎債	【評価・実績】	（実施内容等） ●空調設備改修（熱源機器類） ●エレベータ設備改修 ※事務事業評価結果 A－継続／現状維持	（実施内容等） ●空調設備改修（冷暖房機器類） ●エアコン設備整備工事 ※事務事業評価結果 A－継続／現状維持	（実施内容等） ※事務事業評価結果	（実施内容等） ※事務事業評価結果	（実施内容等） ※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続	年度目標値	1施設	1施設	1施設	1施設	1施設
	（継続有り）	年度達成率	84%	97%	0%	0%	0%
	後期計画への継続	全体達成率	4%	48%	48%	48%	48%
	（継続有り）	備考欄					

様式1
令和元年度実施
令和2年度評価

事業名	病院環境整備事業	評価者　管理職　職氏名	国保病院事務長	新谷　朋人
		評価者　作成者　職氏名	国保病院事務次長	河原　学

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	雄武町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	病院施設環境整備
抱える課題やニーズ	空調設備の経年劣化により、院内の温度調整に支障が生じることから、快適な医療受診環境への改善を図る必要がある		
どのような状態になることを目指したのか（意図）	入院患者及び外来患者等への快適な受診環境の提供		
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	入院患者への療養環境及び外来患者等への受診環境の改善が図られ、快適な医療サービスの提供が行われる		

指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
① 施設維持及び受診環境整備のための工事数	目標年度	令和元 年度
	目標値	2 件
	実績値	2 件
	達成度	100.0 %
②	目標年度	令和元 年度
	目標値	
	実績値	
	達成度	

内容（どのような手段で何を行ったか）		
	空調設備改修工事	設備管理委託事業者による施工
	エアコン設備整備工事	指名競争入札による施工

■事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要	☐	義務的なもの	入院患者や外来患者が快適な環境での治療を受けるため必要な事業である
必要／概ね必要／課題あり	☐	全部	
	☐	一部	

（2）事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効	設定した目標値の達成状況		経年劣化等に伴う空調及エアコン設備の新設により快適な治療環境が維持されたことから有効である
	☑	達成	
有効／概ね有効／課題あり	☐	ほぼ達成	
	☐	下回る	

（3）事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的	判断の理由		設備管理委託事業者との協議をかさね、効率的な施工とするため一部の部品交換による改修工事にとどめる等、事業費の抑制が図られた。また、エアコン設備の新設にあたっても、効率的な温度管理の観点から、施工業者との協議により設置場所及び設置機器の一部変更を行った
	☑	事業費抑制	
	☐	人員削減	
効率的／概ね効率的／課題あり	☐	時間短縮・作業軽減	
	☐	その他	

（4）事務事業の公平性

公平	判断の理由		町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
	☐	受益者負担がある	
	☐	受益者負担がない	
公平／概ね公平／公平でない	☐	受益が一部に偏る	
	☑	その他	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
空調設備改修及びエアコン設備新設により、快適な病院環境の整備が図られた		

今後の展開方向（Action）

継続／現状維持		
今後も利用者が快適かつ安心して治療に専念できるよう、計画的な病院環境整備が必要である		

※展開方向の区分
○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了　○休止　○廃止